



令和7年10月1日

らいかい恵子 議員便り 283号

合志市市議会議員 来海恵子 合志市幾久富 1642-38 ☎ 090-9655-1143

熊本には「随兵寒合(ずいびょうがんや)」という言葉があり、随兵行列の頃になると暑さも和らぐという意味です。自然は正直、夜は涼しく過ごしやすくなりました。私が住む杉並台自治会では7月末に開催していた夏祭りが、昨年からは10月に開催する秋まつりに変わりました。



日中はまだまだ暑く、日本の春と秋は無くなったのではと思う今日この頃です。

来海は、毎月一人で議員だよりを8000枚配っています。

ごちゃまぜの世界目指して!

来海の目指すまち=ごちゃまぜの世界

- ★互いの人格を尊重して、支え合うまち
- ★誰もが健康で、笑って暮らせるまち
- ★誰もが持てる力を発揮できるまち
- ★子どもや高齢者が、安心して暮らせるまち
- ★当たり前前が当たり前にいえて、当たり前前暮らせる幸せなまち



子どもが住みやすいまちは、高齢者や障がい者も住みやすいまち=ごちゃまぜの世界です。当たり前前が当たり前前いえて、誰もが笑って幸せに暮らす。その積み重ねが、将来子ども達が合志市の外に出たときに、「あなたの故郷はどこですか!」と聞かれたら、「私の故郷は合志市です!」と胸を張って言えるのだと信じています。合志市はラブホテルもパチンコ屋もなく、明るく清潔なまちです。愛された子は人にも優しくなれます。子ども達を家庭や地域で一杯愛して、堂々と夢を語れる子に育てて欲しいです。それが、将来の良き市民を育てる私たち大人の責任だと思います。

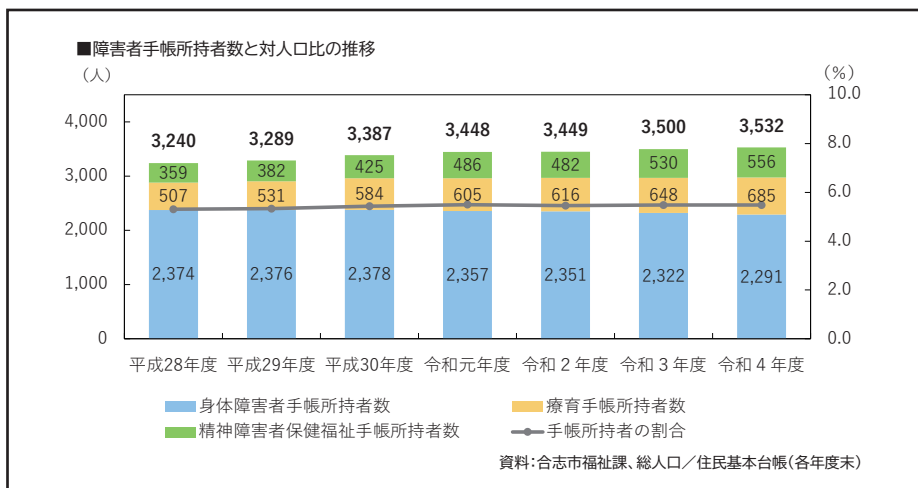
ごちゃまぜの世界実現に向けて、合志市の現状は?

今回は「第7期合志市障がい福祉計画」&「第3期合志市障がい児福祉計画」(いずれも令和6年度~令和8年度)が中間点なので、合志市の現状と課題をデータに基づいて考えてみました。

* データーから見ると合志市の現状

(1) 障害者手帳所持者数の推移

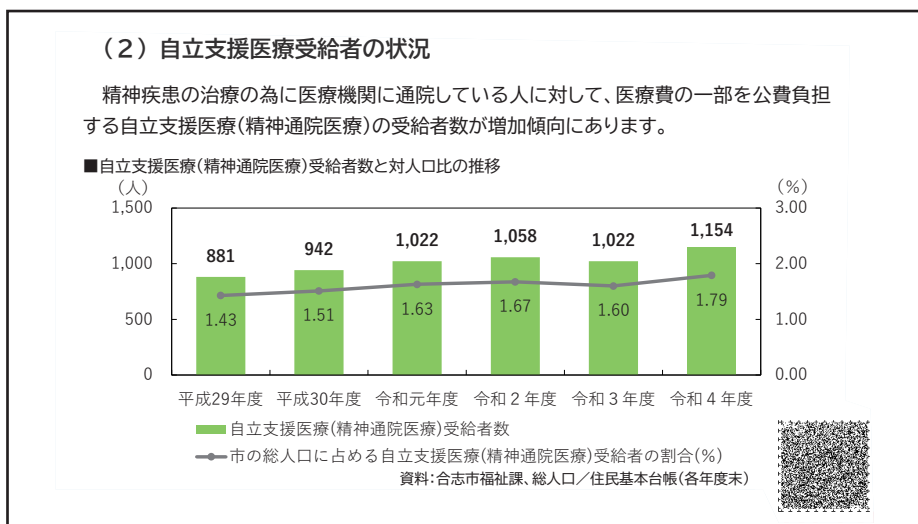
障害者手帳所持者数は年々増加しています。障がいの種類別にみると、身体障がいの方が減少し、知的障がい・精神障がいの方が増加しています。人口に対する手帳所持者の割合は、



平成28年度から令和元年度にかけて増加し、近年は5.5%程度で推移しています。

(2) 自立支援医療受給者の状況

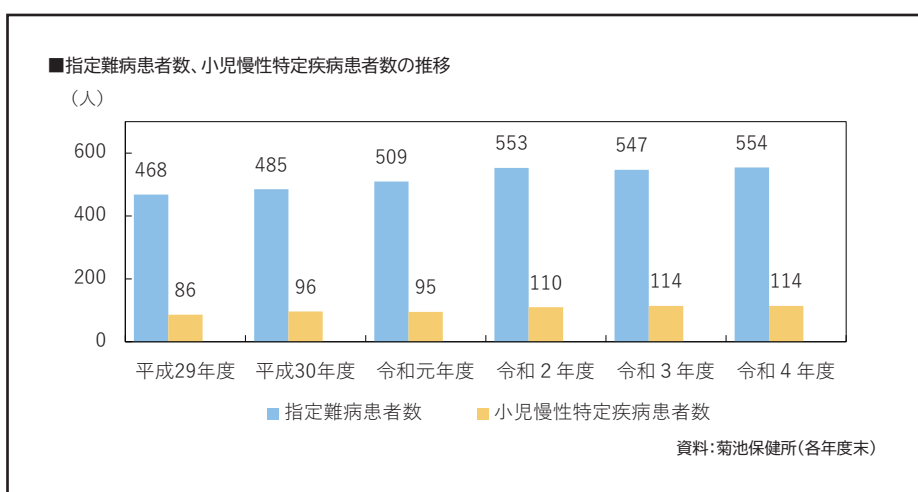
精神疾患の治療のために医療機関に通院している人に対して、医療費の一部を公費負担する自立支援医療(精神通院医療)の受給者が増加傾向にあります。



(3) 難病等の状況

指定難病患者数、小児慢性特定疾病患者数ともに増加傾向で推移しています。

* 指定難病は、以下の条件を満たす疾病です。
 ・原因が不明または病態が未解明であること。
 ・治療方法が全くない、または根治のための治



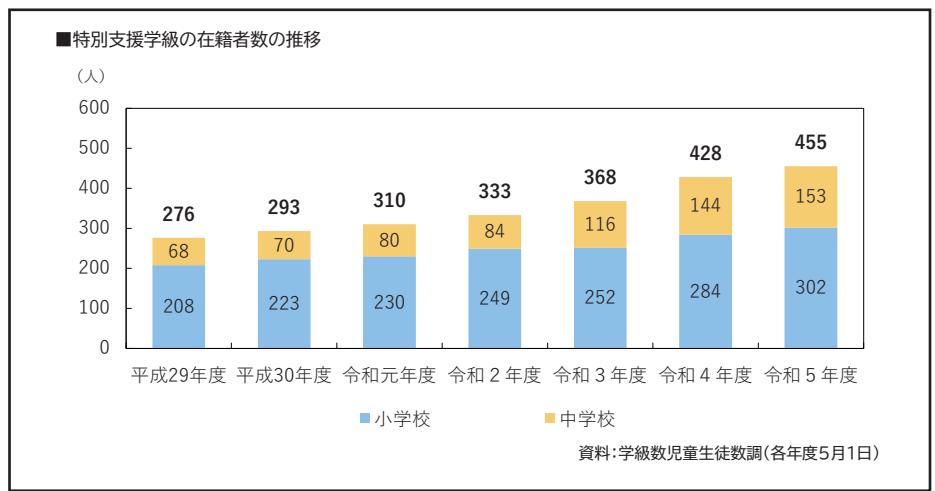
療方法がないが、対症療法や症状の進行を遅らせる治療方法が存在すること。
 ・患者数が少ない(人口の0.1%未満)こと。日本の総人口を基にすると、約12万人程度が目安となります。
 ・客観的な診断基準が存在すること。例指定難病には、パーキンソン病や潰瘍性

大腸炎、全身性エリテマトーデス(SLE)など、広く知られている疾患も含まれ、2025年7月時点で348疾患が指定されています。

*小児慢性特定疾患医療費助成制度は、厚生労働大臣が定める慢性疾患にかかる18歳未満の子どもに対して、医療費の一部を助成することを目的としています。この制度は、子どもたちが必要な医療を受けられるようにするためのもので、特に高額な医療費がかかる場合に役立ちます。対象となる疾患は、2025年4月1日現在で801疾患に拡大されました。代表的な病気は、I型/II型糖尿病や小児ぜんそく、ダウン症などがあげられます。

(4) 支援が必要な子どもの状況

特別支援学級に在籍する児童生徒が増加しており、令和5年度では455人です。平成29年度と比べると、全体で179人増加しています。また、慢性的な教員の不足で加配が難しい現状



があり、県に教育委員会から教員の配置の要望しています。

合志市障がい者基幹相談支援センター

市総合センター「ヴィーブル」安心サポート合志市内(☎096-248-2625)と須屋の障がい者支援センター「れんがの家」内(☎096-242-2271)に専門の相談員を配置しています。

利用対象者

- 障がいや難病がある市民とその家族、支援者
- 関係機関(地域の相談機関、事業所等)の方

相談時間

- 平日(月曜～金曜)
午前8時30分～午後5時15分
- 休日は、土曜、日曜
祝日及び年末年始
- ※緊急時はこの限りではありません

相談方法

- 電話・来所・訪問など、ご希望にあわせて対応いたします。
- 相談は無料です。面談を希望される場合は、一度電話でご連絡ください。

主な活動内容

- 総合的・専門的な相談
 - ・障がいについての初期相談の対応をおこない、関係機関へのつなぎや情報提供を行います。
- 地域の相談支援体制の強化
 - ・関係機関とのネットワークを強化し支援者へのサポートを行います。
- 医療的ケア児等のコーディネート
 - ・関係機関と連携しながら、ライフステージに応じた支援を一緒に考えていきます。



主な活動内容

- 地域の体制づくり
 - ・施設や病院に長期的に入所、入院している方が、安心して地域で暮らしていけるように関係機関と連携し、体制整備を行います。
 - ・緊急時や災害時の支援について行政と協働で取り組んでいきます。
- 権利擁護・虐待防止
 - ・成年後見制度の啓発や相談対応を行います。
 - ・虐待防止に対する広報や啓発に取り組みます。



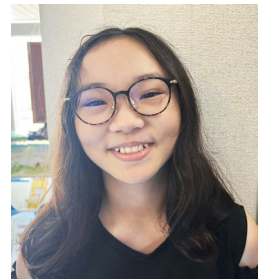
敬老の日に寄せて、素直な子どもたちの感謝の言葉♡

9月15日杉並台自治会「敬老会 感謝の集い」が開催し、6年生の日高緒乃さんと5年生の梅田類君が感謝の言葉を述べ、皆さんニッコリされていました。



おじいちゃん・おばあちゃん、そして地域の方々、いつも見守りや優しくしてくれてありがとうございます。

私のおじいちゃんは、毎日学校に迎えに来てくれます。おばあちゃんは、おいしいご飯を作ってくれます。二人ともいつも元気で、とても優しいです。私は、そんな二人が大好きです。



地域の方々は、毎朝私たちの登校を見守ってくれます。「おはよう！」と言われると、元気が出ます。転んで怪我した時は、家まで送ってくれました。優しく親切な地域の方々に、とても感謝しています。おじいちゃん・おばあちゃん、いつまでも元気に長生きしてね。地域の方々へ、親切にしてくれてありがとうございます。

日高緒乃

杉並台のおじいさん・おばあさん、敬老の日おめでとうございます。いつも僕たちのことを見守ってくれてありがとうございます。ぼくは、みなさんと一緒にする秋祭りや七夕をとっても楽しみにしています。特に、秋祭りが一番楽しみです。

元気なおじいさん・おばあさんに負けないように、僕も毎日学校を頑張ります。いつまでも長生きしてください。



梅田類

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子
Mail rai-ok@nifty.com <http://raikaikeiko.info/>



f らいかい恵子 検索